

令和 6 年度事業報告 (案)

社会福祉法人 尼崎武庫川園

1 令和 6 年度事業総括

令和 6 年度は、報酬改定による処遇改善加算の一本化、生活介護事業の利用時間による単価設定や入所施設に対する地域移行の促進などの施策が実施された。法人全体ではご利用者の確保が課題となり定員の維持に努めてきた。報酬改定による影響は大きくはないが収入については厳しい状況が続いている。武庫アルテンハイム建替整備については西宮市の整備補助金の支給を受けることができ、西宮市福祉のまちづくり課の指導に基づき入札手続き、建設請負契約の締結を進め、令和 7 年 3 月に無事着工する運びとなった。以下、事業計画の項目ごとに報告を行う。

(1) 武庫アルテンハイムの建替整備について

武庫アルテンハイム建替整備計画について、6 月の理事・評議員会において基本設計の確認を行い、独立行政法人福祉医療機構からの借入金に関する償還計画等についても確認を行った。9 月 24 日付にて西宮市特別養護老人ホーム等建設補助金の内示を受け、入札手続きの準備を進め、令和 7 年 1 月 20 日に入札を実施し、請負業者を林建設に決定した。2 月 25 日付で補助金の決定通知を受け、6 年度及び 7 年度総額 211,140,000 円の補助が決定した。3 月 5 日には工事着工し令和 8 年 3 月の仮使用申請に向けて、順調に進んでいる。

(2) 人材確保について

採用チームによる各種就職フェアへの参加及び多様な媒体を使った求人活動の結果、正規職員は新卒採用 2 名、中途採用 2 名、非常勤職員については 3 名の採用を行った。人材確保は年々厳しさを増していくと考えられ、外国人の採用に向けて兵庫県社会福祉協議会等の主催する外国人材に関する各種セミナーへ参加するなど情報収集を行った。

(3) 人材育成について

個々のキャリアアップを意識し、法人の理念に沿った人材育成のシステム作りを行うため、中核的な役割を担う職員への研修を実施した。新任職員や中途採用者も含め各現場での OJT がしっかりと行われる必要があるため、エルダーやメンターの仕組みを充実させるよう努めた。全階層で必須となる研修についてはオンライン研修の活用や必要に応じて外部研修へ参加させることによって研修効果を高めるようにした。法人研修は階層別に求められる役割を再確認することを意識したテーマを設定し、外部講師による集合研修を実施した。

（４）ワークライフバランス等への取り組みについて

一般事業主行動計画の策定と育児休業等の職員への周知を行い、男女とも育児休業の取得率向上に努めた。令和６年度中の対象者は男女とも３名おられ、期間の長短はあるが１００％の方が育児休業を取得された。法人内で夫婦共に育児を取得した職員の特集を広報誌に掲載し、今後の啓発にも努めた。

（５）地域貢献・地域における公益的な取組の推進について

地域交流として、尼崎武庫川園祭りはご家族を交えて実施する予定だったが、あいにくの雨となり、恒例のビンゴ大会は全体で行ったものの、各施設でお楽しみ行事として実施した。地域の方に法人の活動を知っていただく機会として西宮市民祭りや甲東文化の集い等へ参加し、展示や物品の販売等を行った。公益的な取り組みとして、西宮市社会福祉協議会との連携や「ほっとかへんネット西宮」の取り組む「災害・防災」委員会へ参画し、災害時の応援体制や被災地域への応援派遣等について知見を深めた。また地域の段上福祉委員会や地区懇談会及び段上地区社会福法人連絡協議会へ積極的に参画した。

（６）災害対策の整備について

各事業所にて計画に基づき防災訓練を実施し、災害時の落ち着いた行動や避難ができるよう努めた。備蓄食料については入所施設の人数を目安に３日分を確保し、水害に備えて新館及びリーブ・フルーリーの４階に保管した。６月にはBCPシミュレーションとして総合防災訓練を実施し、洪水発生時の連絡体制の確認や垂直避難訓練を行った。

（７）委員会活動について

衛生委員会では、入所施設の巡回を行い職場環境の改善へ向けた提言や良い取り組みを共有するようにした。腰痛調査、ストレスチェックを実施し、結果を公表するとともに職員の心身の健康増進への啓発を行った。

虐待防止委員会では、令和５年度の各事業所における虐待防止・身体拘束の適正化を図る取り組みについてまとめ、８月に委員会を開催した。事例や取り組み内容を公表するとともに運営規定の整備にかかわる情報提供や必須となる研修の案内を行い、虐待を未然に防ぐよう努めた。

感染対策委員会では、各種感染症発生時のシミュレーション研修を実施し、「気づき」を共有することで感染対策の強化を図るようにした。また、各事業所で発生する感染症の情報を共有するなど集団感染への備えを行った。

広報委員会では、各事業所のトピックスや新任職員の紹介等の情報を機関誌として年２回発行した。またホームページの公開情報更新やブログ、インスタグラムなどを通して法人の魅力を発信し、職員の採用や新規利用者の獲得につながるよう活動した。

リスクマネジメント委員会では、各事業所で起こったヒヤリハット

や事故事例を共有するとともに、事例に対する評価・検証を行い、有効な対応策の検討や提案について意見交換を行った。

採用チームでは、新卒採用を中心に魅力あるプレゼンテーションやわかりやすい説明の工夫などを若手職員も交えて検討し、各種就職フェアに参加した。また、就職説明会や施設見学の受け入れを定期的の実施し、先輩交流には採用 1～3 年目の職員を参加させるなどして学生により近い目線で福祉で働く魅力を伝えるよう活動した。

2 職員配置

常務理事 事務局長兼務	施設長	事務員 施設事務兼務		
1	6	2		

7 年 3 月 31 日現在

3 法人主催研修

実施日	研修名	人数及び対象階層
4 月～5 月	新人職員研修	5 名 新規採用者
6 月 12 日	MBTI・チームビルディング①	11 名 専門職等
7 月 13 日	利用者主体の支援	9 名 中堅職員
11 月 20 日	MBTI・チームビルディング②	17 名 全階層
12 月 11 日	経営マネジメント	9 名 役職者
12 月 14 日	利用者主体の支援	6 名 中堅職員
1 月 28 日	OJT リーダー養成	10 名 全職員
2 月 25 日	チームマネジメント	10 名 新任職員
3 月 6 日	経営マネジメント②	9 名 役職者
3 月 15 日	実践報告会	20 名 全職員

4 年間行事

月	行 事 内 容
4 月	1 日 辞令交付式、法人新任研修 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染） 18 日 第 1 回理事会（設計契約、書面決議）
5 月	14 日 会計監査 22 日 監事監査 30 日 建設委員会 委員会（衛生、事故対応、広報、採用）
6 月	6 日 第 2 回理事会（決算報告等） 7 日 総合防災訓練 21 日 定時評議員会（決算報告等） 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
7 月	委員会（衛生、事故対応、広報、採用）
8 月	委員会（虐待、衛生、事故対応、広報、採用、感染）
9 月	委員会（衛生、事故対応、広報、採用）
10 月	1 日 第 3 回理事会（4/18 決議事項の破棄、書面） 26 日 西宮市民祭りへ出展 31 日 第 4 回理事会（武庫アルテンハイム建替整備計画の入札資格、募集公告等） 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
11 月	2 日 尼崎武庫川園祭り（職員・利用者） 5 日 建設委員会 13 日 会計監査（中間期） 23 日 正規職員登用試験実施 26 日 第 5 回理事会（武庫アルテンハイム建替整備計画の入札参加資格の審査、第 1 次補正予算） 委員会（衛生、事故対応、広報、採用）
12 月	12 日 第 2 回評議員会（第 1 次補正予算） 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
1 月	20 日 武庫アルテンハイム建替整備工事入札実施 28 日 第 6 回理事会（入札結果及び工事請負契約） 委員会（衛生、事故対応、広報、採用）
2 月	委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
3 月	11 日 第 7 回理事会（第 2 次補正予算・令和 6 年度事業計画・令和 6 年度当初予算・就業規則等改正） 28 日 第 2 回評議員会（第 2 次補正予算・令和 6 年度事業計画・令和 6 年度当初予算） 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）

5 実施事業及び定員一覧

「松の園」	障害者支援施設（知的） ショートステイ（空床型） 定員 45 名
「カトレアの園」	障害者支援施設（身体） ショートステイ（空床型） 定員（入所） 48 名（通所） 10 名
「武庫アルテンハイム」	特別養護老人ホーム ショートステイ 定員（入所） 60 名 （ショートステイ） 5 名
「第 2 松の園」	就労継続支援 B 型 定員 35 名
「リーブ・フルーリー」	障害者支援施設（知的） ショートステイ 定員（入所） 50 名 （ショートステイ） 4 名
「第 1 松の園」	生活介護 定員 50 名
「かがやきステーション」	相談支援事業所
「こころ&つばさ」	共同生活援助（グループホーム） こころ&つばさ 定員 4 名 ひまわりガールズ 定員 3 名

松の園

1 令和 6 年度事業総括

6 年度、男性 22 人、女性 23 人、計 45 人満床でスタートした。5 月末に 50 代女性ご利用者、7 月末に、40 代男性ご利用者が病気療養のため退所されたが、8 月、11 月には通所施設で入所希望されていた方と契約した。収入面では前年比、約 300 万円の増収となり安定している。6 年度は新卒 2 名が入職した。若い力を育てていく過程で、「経営理念や方針に基づいた事業行動がとられているか」を全職員が意識することになり、結果、松の園の「大切にしたい価値観」を共有することが出来た。

(1) 感染症対策

感染予防対策は研修を含め積極的に行った。家族との外出や面会の制限は解除したが、健康観察と基本的な予防策をご家庭でも講じていただくことで 1 年を通じて健やかに過ごすことができ、クラスターも起こらなかった。また、入院するご利用者もおられなかった。

(2) 高齢化・重度化

認知機能や身体機能の低下が顕著なご利用者が増えた。食事や排泄、入浴にも課題があり、ご利用者、職員共に心身の負担が軽減できるよう、リフトや介護ベッド、シャワーチェア等をリースして対応してきた。また、一昨年のような誤嚥事故が起こらないよう、食事前の嚥下体操を実行し、予防の知識も身に付けた。法人内でのライフステージにあった転籍も 1 名、4 月には実現できる運びとなった。

(3) 健康維持

7 月末に理学療法士が退職し、柔道整復師（鍼灸師）を雇用した。高齢になるほど生活の中での動きが縮小されているので、「身体機能の維持、向上」「廃用予防」のためにも親しみやすく、参加しやすいよう工夫している。医師指導のもと、支援計画に基づいた訓練を行った。

(4) 生産活動・日中活動

日中活動の中心は生産活動だが、ご利用者が生産に携わるのべ時間は年々短くなっている。ご利用者に支払った平均年間工賃は 17,000 円で昨年度より 5,000 円少ない。十分な額とは言えないが、働いて対価を得るということは有意義な活動だと認識している。松の園に入所を希望される方は、生産活動を主軸に置いていることを評価されており、メリハリのある生活をおくることができている。第 2 松の園の穿孔機が不要となったため入れ替えを行った。旧式の機械を使用していたため、職員にとっても安全で、姿勢の負担が軽くなった。また、ボランティアの方々の力を借りての音楽セラピー、ミニキッチンを使っておやつ作りなど、余暇も充実させた。ご利用者の食への関心が高く、毎月第 4 土曜日のバーベキュー、第 2 木曜日のお弁当の日などの企画は定着し、給食ではない食事も楽しんでいただいた。

3 月より武庫アルテンハイムの工事が始まり、法人内の散歩やベラ

ンダの使用、窓の開閉等が制限されている。安全を第一に考えるがご利用者が健全にすごせるよう心を配っていく。

(5)「設備整備・備品」

3 階浴室への給湯配管から水漏れが確認され、2 階厨房に影響があり原因調査と対策工事を行った。しかし、改善せず改めての調査と工事を次年度に行うことになった。

2 職員配置

施設長	事務員 本部事務兼務	サービス管理 責任者	看護師 (非常勤)	管理栄養士
1	1	1	1 (1)	1
柔道整復師 (鍼灸師) 非常勤	支援員 常勤	支援員 非常勤	嘱託医 内科、精神科、歯 科、耳鼻咽喉科	ボランティア グループ 1
1	1 2	7	4	

令和 7 年 3 月 31 日現在

3 内部・外部研修

内外部研修一覧

研修日	研修内容	参加人数
4 月 1 日～ 5 月 2 8 日	障害者虐待とは	2 5
4 月 1 日～ 9 月 1 6 日	身体拘束について	2 2
4 月 1 日～ 9 月 6 日	感染予防とゾーニング	2 4
4 月 1 日～ 9 月 1 8 日	BCP とは	2 5
4 月 3 日	発達障害の特徴と具体例	2
4 月 3 日	認知症と知的障がい高齢者	2
4 月 3 日	知的障害者の理解 1	2
4 月 3 日	精神障害の概要	2
4 月 30 日	感染症が起こった際の初動パッケージ	1
5 月 1 0 日	リフター操作実技講習	1 3
5 月 1 5 日	リフター操作実技講習	1 0
5 月 2 7 日	福祉従事者新任職員研修（障がい者福祉）	2
6 月 1 日～ 9 月 1 0 日	スタンダードプリコーション	2 3

6月1日～ 10月2日	風水害から利用者の命を守る	16
6月20日	はじめて福祉の仕事に就く人の為の研修 (基礎編) Aコース	2
7月1日～ 11月13日	実践的な虐待防止活動	20
7月1日～ 9月24日	虐待事案に正しく対処する	20
7月4日	OJTリーダー養成研修	1
7月25日 10月3日	OJTリーダー養成研修 OJT実践計画を作成し、職場で実践する。	1
8月1日～ 9月6日	リスクの把握と選定について	18
8月17日～ 8月18日	2024年度スヌーズレンパートナー養成講座 (初級)	1
8月28日	障がい制度と介護保険制度の連携について	2
9月1日～ 9月30日	社会問題化するハラスメント	16
9月1日～ 10月29日	ハラスメントとは何か	17
10月1日～ 10月31日	なぜ強度行動障害になるのか	17
10月1日～ 11月27日	強度行動障害とは	19
10月1日	強度行動障害支援者養成研修 基礎	1
10月8日	強度行動障害支援者養成研修 基礎	1
10月18日～ 10月20日	強度行動障害支援者養成研修基礎実践	1
11月1日～ 1月10日	身体自立 水分栄養編	20
11月1日～ 1月10日	自立支援介護と身体自立	16
11月8日	新任職員ステップアップ研修 ～中堅職員になる際の心構え～	2
11月27日	目で見てわかる支援構造化	1
12月3日	令和6年度権利擁護研修	2
12月5日	高齢知的障がい者への支援	2
12月1日～ 1月10日	身体的自立への今すぐ行う取り組み	17

12月1日～ 1月31日	身体的自立要素（運動・便通編）	2 2
12月9日	福祉従事者のためのアンガーマネジメント研修	2
12月19日	支援力パワーアップ研修会	2
1月1日～ 1月28日	認知症と知的障がい高齢者	1 3
1月1日～ 1月28日	からだところの老い	1 6
1月18日 1月19日	サービス管理責任者実践研修	1
1月14日	スタッフの不満・不公平を無くすシフト作成のポイント	1
3月1日～ 3月31日	高齢期の生活課題を改めて見直す	4
3月1日～ 3月31日	自閉症スペクトラムの理解・自閉症の障害特性	1 5
3月3日	うるう年 GOGO 阪神北合同勉強会	1
3月5日	令和6年度管内栄養士・管理栄養士研修会	1

法人研修

研修日	研修内容	参加人数
4月1日～ 4月16日	新人職員研修（採用時研修 支援者として）	2
6月12日	MBTI・チームビルディング①	3
7月13日	利用者主体の支援	2
9月1日～ 10月31日	虐待を防止するための日常の取組について①	2 3
9月1日～ 10月31日	虐待を防止するための日常の取組について② ～身体拘束・行動制限の廃止と支援の質の向上～	2 3
11月20日	MBTI・チームビルディング②	3
12月11日	経営マネジメント①	1
12月14日	利用者主体の支援	2
1月28日	OJTリーダー研修	2
2月25日	チームマネジメント	2
3月6日	経営マネジメント②	1

3 月 15 日	実践報告会	4
----------	-------	---

4. 令和 5 年行事

月	日	行 事 内 容	参加人数
4 月	3	お花見おやつバイキング	44
	11	お弁当会①	45
	16. 30	ミュージックセラピー	36. 32
	27	バーベキュー①	42
5 月	3	ゴールデンウイーク行事(いちごパフェづくり)	34
	4	ゴールデンウイーク行事(ゲーム大会)	37
	9	お弁当会②	45
	15	健康診断	45
	16. 28	ミュージックセラピー	36. 34
	25	バーベキュー②	41
6 月	10. 14. 23. 24	外食(ビッグボーイ)	33
	13	お弁当会③	45
	11. 27	ミュージックセラピー	30. 35
	17	ボーリング	8
	22	バーベキュー③	43
7 月	5	七夕会	44
	8	ミニミニ運動会	43
	11	お弁当会④	45
	11. 25	ミュージックセラピー	35. 35
	27	バーベキュー④	41
8 月	4	フラダンス教室	38
	8	お弁当会⑤	45

	10	フラッペづくり	45
	8.20	ミュージックセラピー	35.36
	24	バーベキュー⑤	45
	30	夏祭り & 盆踊り	45
9 月	12.16	須磨水族園 遠足	45
	10.24	ミュージックセラピー	36.34
	18	耳鼻科健診	45
	24	お弁当会⑥	45
	28	バーベキュー⑥	43
10 月	10	お弁当会⑦	42
	8.24	ミュージックセラピー	35.36
	24	バーベキュー⑦	41
11 月	2	武庫川園祭り	45
	12.28	ミュージックセラピー	37.30
	14	お弁当会⑧	45
	23	バーベキュー⑧	40
12 月	10.26	ミュージックセラピー	37.31
	12	お弁当会⑨	43
	24	クリスマス会	45
	28	バーベキュー⑨	43
1 月	4	新年会 & 餅つき大会	30
	9	お弁当会⑩	45
	14.23	ミュージックセラピー	33.35

	25	バーベキュー⑩	43
2 月	3	節分会	45
	11.27	ミュージックセラピー	33.34
	13	お弁当会⑪	45
	22	バーベキュー⑪	42
3 月	3	ひな祭り	45
	11.27	ミュージックセラピー	33.32
	13	お弁当会⑫	45
	14	耳鼻科健診	45
	22	バイキング⑫	43

毎月・毎週の行事

- ・誕生会・理美容・血压体重測定・内科検診・精神科往診
- ・オーラルケア（毎週）・おやつ作り（毎週）避難訓練（月 1 回）

5 月別生産活動収益

月	月別合計金額
4 月	58.751
5 月	54.912
6 月	56.712
7 月	55.209
8 月	58.423
9 月	64.064
10 月	66.176
11 月	74.228

12 月	74. 074
1 月	83. 823
2 月	65. 989
3 月	61. 262
合 計	773. 623

カトレアの園

1 令和6年度事業総括

令和6年度は入所者42名通所者9名でスタートし、1名が亡くなり、新規に入所者2名を受け入れた。見学や体験を積極的に受け入れ、次年度に向けて入所の予定が2名ある。

感染症については標準予防策を続けているが、5月に利用者7名職員4名、11月に利用者16名職員6名の新型コロナウイルスのクラスターが発生。1月には利用者10名職員2名のインフルエンザのクラスターが発生した。

ノーリフトの取り組みについて、リフトリーダーを中心に身体介助、リフト使用時のマニュアルの整備を行った。通園時の自家用車から車椅子への移乗に床走行リフトやスタンディングリフトを活用したことで「抱え上げの介助ゼロ」を実現できた。

不良姿勢の改善・腰痛対策のため、リスクマネジメントを組織全体の取り組みにするため「腰痛リスク見つけたぞ」の取り組みを行った。全職員にリスクのある個所を付箋に書いてもらい支援員室に張り出し、委員会で対策を検討した。その中で、マルチグローブの全職員携帯、シャワーキャリーの追加購入、ポジショニングシートの購入などで、ポジショニング、体圧分散、不良姿勢の修正時におこる介助者、利用者双方の負担が軽減され、業務の効率化、ケアの質の向上を図ることができた。

24時間姿勢ケアのチームを中心に、個別に生活動作や姿勢をアセスメントし、ポジショニングの検討や福祉用具の活用を行った。シェア会を開催し、実践の効果や利用者の変化、担当職員の思いを職員で共有する中で、単に姿勢の変容のためのケアでなく、ご利用者の生活意欲や生きがい活動につながるケアであることの理解が進んできた。

統一した、根拠を持った支援の提供のための個別支援の標準化や成育歴の記録はまだ十分に進んでいない。ご利用者への不適切支援を通して、身体介助時のマニュアルを場面ごとに整えた。

権利擁護委員会では好事例を共有するために「にこりほっと」の取り組みを行った。

日中活動の充実については、毎月ご利用者の意見を取り入れた食のイベントを行い、行事とともに楽しんでもいただいた。新たにアロママッサージボランティアに毎月来ていただいたり、新たな活動を取り入れた。ポッチャは地域での催しがあれば積極的に参加していただいた。

設備・環境整備の面ではリフト車の経年劣化により1台は、軽のリフト車へ買い替えを行った。また清水基金の補助金申請が通ったので次年度にキャラバンの買い替えを予定している。

2 職員配置

施設長	事務員	サービス管理 責任者	看護師	栄養士
1	1	1	3	1
理学療法士	支 援 員 常勤（内嘱託）	支 援 員 非常勤（内派遣）	清掃・運転 非常勤	
1	2 2（2）	8（5）	4	

令和 7 年 3 月 3 1 日現在

3 外部・内部研修

外部研修

実施日	研修名	参加人数
4 月 1 7 ・ 1 8 日	バリアフリー展	3 名
4 月 2 6 日	ソウェルコミュニティ	1 名
6 月 1 0 日	人が育ち自分も伸びるリーダーシ ップ研修	2 名
6 月 1 3 日	発達障害のある人と医療の関り	2 名
6 月 2 4 日	福祉従事者新任研修	1 名
6 月 2 9 日	意思決定支援と虐待防止	1 名
7 月 6 ・ 7 日	社会福祉施設の今日的使命を問う	1 名
7 月 4 日	O J T リーダー基礎研修	2 名
7 月 2 5 日	O J T リーダー実践研修	2 名
1 0 月 3 日		
7 月 1 7 日	チーム力を高めるファシリテーシ ョン	2 名
7 月 3 1 日	初めて福祉の仕事につく人のため の研修 実践編	1 名
8 月 7 日	聞き上手伝え上手になるためのコ ミュニケーション研修基礎	1 名
9 月 1 1 日	管理職のためのストレスケア	1 名
9 月 1 9 日	セルフコンパッション	2 名
1 0 月 1 0 日	だんだんミーツ段上職員交流会	2 名
1 0 月 1 9 ・ 2 0 日	意思決定支援と虐待防止	1 名
1 0 月 2 4 日	リーダーのためのスーパービジョ ン基礎	1 名
1 1 月 1 9 日		
1 2 月 1 8 日		
1 月 2 1 日		
1 1 月 8 日	新任職員ステップアップ研修	1 名
1 1 月 1 1 日	兵庫県身体障害者施設協議会 施 設運営と地域福祉活動	2 名
1 1 月 1 3 日	コーチング	1 名
1 2 月 6 ・ 7 日	動きを引き出すポジショニング	2 名

1月24日	西宮市職員交流会	1名
1月25日	ノーリフト研修	1名

内部研修

実施日	研修名	参加人数
5月～	不良姿勢 座位	全員
6月7日	B C P 研修	7名
8月30日～	虐待防止研修	全員
9月17日	24時間姿勢ケアシェア会	5名
10月3日	24時間姿勢ケアシェア会	5名
10月8日～	ポジショニング研修	14名
10月9日	兵障協QOL委員会ノーリフト実践報告	5名
2月2日～	感染症研修と訓練	全員
3月15日	実践報告会	4名

4 年間行事

月	日	行 事 内 容	参加人数
4月	1日～17日	近隣の公園で花見	40名
	5日	春の行事	48名
	19日	ひまわり会総会	45名
	25日	海鮮チラシパーティー	42名
5月	3日	餃子パーティー	36名
	24日	バーベキュー	49名
	28日	トライやるウィーク受け入れ	2名
6月	14日	たこ焼きパーティー	48名
	28日	ボッチャ大会	42名
7月	19日	マジック ボランティア	49名
	26日	フルーツバイキング	44名
8月	2日	流しソーメン	45名
	9日	夏祭り	47名

9 月	4 ～ 1 8 日	武庫之総総合高校実習受け入れ	3 名
	6 日	流しそうめん	4 6 名
	1 2 日	パラスポーツ体験会	2 名
	1 3 日	ピザパーティー	4 6 名
1 0 月	1 1 日	バーベキュー	4 3 名
	2 5 日	ケーキバイキング	4 4 名
1 1 月	2 日	武庫川園まつり	4 7 名
	8 日	焼き芋	4 6 名
	1 9 日	段上地区ボッチャ交流会	2 名
	2 9 日	西宮障害者作品展	2 名
1 2 月	2 0 日	クリスマス会	4 6 名
	3 0 日	おでんバイキング	3 1 名
1 月	3 日	鍋パーティー	2 8 名
	1 0 日	新年会	4 5 名
	3 1 日	寿司バイキング	4 2 名
2 月	1 4 日	選択ラーメン	4 7 名
3 月	1 8 ・ 1 9 日	おにぎりパーティー	1 9 ・ 2 2 名
	2 8 日	花見企画・バイキング	4 5 名

毎月 音楽療法 歌のボランティア アロママッサージ

武庫アルテンハイム

1 令和 6 年度事業総括

令和 6 年度実績は、特養利用率 80.9%（48.3 名）、短期入所利用率 31.1%（1.5 名）であった。4 月より入退院が繰り返され利用率は低下した。従前より課題である「入院に伴う入居者の速やかな補充」が今年度もできなかった結果、その状態を 1 年引っ張ってしまうこととなった。

- (1) 令和 6 年度は、新卒者および異動職員で職員体制を整えた。事業計画の重点事項にもあげたが、新しい職員にはエルダーを配置して新人教育を進めてきた。そのような中、2 名の介護職員が体調を崩して退職。年度初めに整えた職員体制は、下半期には正規職員が常に超過勤務をするような状態になってしまった。そのため、「一斉介護」から「エリア別介護」を意識した業務変更を計画したものの実施できず、次年度に持ち越すこととなった。
- (2) 法人が掲げた「ノーリフトポリシー」の理念に基づき、5 年度から当施設においてリフトを導入した。リフトを適切に使う職員、使わない方がやりやすいという職員に分かれ、適切に業務の中に持ち込めなかった。「なぜ、リフトを使うのか」という理念を研修等で伝えたが不十分であったため、職員本位な活用の仕方になってしまった。業者主催によるリフト研修、リフトリーダーの育成、リフト委員会の活用で役職者とリフトリーダーとが協働して職員に周知していくことを再度取り組みたい。

施設建替えに向け、具体的に設計事務所に図面を書いてもらうことになった。環境が変わっても利用者主体の「あった介護」を行うことに変わりはないが、ユニット型特養がどういうものか、役職者・看護師ともに実際に勤務したものがほぼいない状態。そこで、兵庫県福祉事業団万寿の家の見学、兵庫県老人福祉事業協会阪神ブロックのユニット型特養の協力を得て、役職者 2 名は 1 週間の体験実習を、また看護師も別のユニット型特養への見学実習を行った。役職者 2 名は、全国個室ユニット型施設推進協のユニットリーダー研修に参加し、現場職員への伝達研修を行う準備を進めている。引き続き他の役職者にも実習を行う予定である。

- (3) 感染対策については、西宮渡辺病院と提携病院として連携したことで感染対策室と協働して環境整備を行った。備品は、コロナ禍以降、備蓄していたものを順次使う形となり補充が追いつかなかったが、手洗い用のソープディスペンサー、手指消毒用のアルコール噴霧器の設置等の環境を整えることができた。

2 職員配置 ※派遣職員含む

施設長	事務員	介護支援 専門員	看護職員 (非常勤)	管理栄養士
1	1	1	4 (1)	1
理学療法士 (リープ兼務)	介護職員 常勤	介護職員 非常勤(うち生活支 援)	清掃業務 非常勤	生活相談員
1	16	12 (4)	2	1

令和 7 年 3 月 31 日現在

3 内部・外部研修

実施日	研 修 名	主 催	参 加 者
6 月 21 日	施設相談員と在宅医療介護関係者との交流会	甲東甲陽在宅療養相談支援センター	1 名
6 月 18 日、28 日、7 月 8 日	いまづ聖徳園看護業務実習 (ユニット型特養)	いまづ聖徳園	計 3 名
7 月 4 日	令和 6 年度 OJT リーダー養成研修 (基礎編)	県福祉人材研修センター	1 名
7 月 8 日～ 7 月 12 日	ユニット型特養での生活、業務とは	高齢者総合福祉施設「愛しや」	1 名
7 月 23 日	「ケアマネ実務 120 のポイント」(アセスメント編)	兵庫県福祉センター	1 名
7 月 25 日 10 月 3 日	令和 6 年度 OJT リーダー養成研修 (実践編)	県福祉人材研修センター	1 名
8 月 2 日	介護施設における安全対策担当者養成研修	オンライン (全老協)	1 名
9 月 19 日	福祉従事者のためのセルフケア研修	県福祉人材研修センター	1 名
10 月 28 日	第 2 回県老協阪神ブロック 施設長会	西宮市役所第 2 庁舎 (危機管理センター)	1 名
12 月 3 日	看護職と介護職の連携強化	県福祉人材研修センター	2 名
12 月 12 日～ 12 月 13 日	防火管理者新規研修	西宮市役所第 2 庁舎	1 名
12 月 14 日	「ケアマネ実務 120 のポイント」(ケアプラン編)	兵庫県福祉センター	1 名
1 月 14 日～ 1 月 16 日	ユニットリーダー実地研修	特別養護老人ホームゆう	1 名

1 月 24 日	ユニットリーダー実地研修フ・レ・ゼンテーション	全国個室ユニット型施設推進協	1 名
1 月 25 日	「人の基本動作に則した移乗介助方法とプロセス」	ウエルネット・研究所研修センター	2 名
2 月 13 日	特養看護研究会「5 類移行後のコロナ感染対応について考える」	宝塚すみれ栄光園	2 名
2 月 25 日～ 2 月 27 日	ユニットリーダー実地研修	特別養護老人ホームゆう	1 名
3 月 14 日	ユニットリーダー実地研修フ・レ・ゼンテーション	全国個室ユニット型施設推進協	1 名
3 月 5 日	令和 6 年度管内管理栄養士・栄養士研修会	西宮市勤労会館第 8 会議室	1 名

4 法定研修（ジョブメドレーオンライン研修）※全職員対象

月	内 容
11	「高齢者や虐待について」①
12	「感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修」
1	「身体拘束に関する研修」① 「身体拘束・高齢者虐待に関する研修」②
2	「BCP について理解する」
3	「認知症及び認知症ケアに関する研修」

5 年間行事

月	行 事
4	・花見昼食会（春のミニ演奏会）
5	・端午の節句会（マグロの解体ショー）、菖蒲湯入浴
6	・ドッグセラピー ・ウーバー食事会（3 名）
7	・七夕会 ・にしのみや聖徳園夏祭り（4 名） ・ウーバー食事会（3 名）
8	・夏祭り
9	・敬老会
10	・喫茶外出（3 名）
11	・尼崎武庫川園法人祭
12	・クリスマス会 ・ゆず湯入浴
1	・新年会
2	・節分会 ・手作りおやつクッキング
3	・お雛祭り会

第2松の園

1 令和6年度事業総括

(1) 利用状況

令和6年度、第2松の園は利用契約27名でスタート。年度の途中から通所事業再編に伴い、第2松の園から第1松の園へ2名が異動し、第1松の園から第2松の園へ1名が異動した。また、生活スタイルの変化に伴い松の園に2名が入所し、外部から1名の新規利用者が加わり、3月末、利用者数は25名となっている。

(2) 職員体制

職員体制については、1名が事業再編に伴い第1松の園へ異動し、3月末に正規職員1名が退職した。

(3) 生産活動

生産活動に関しては、年度中旬に助成金を利用して大型の印字圧着機を購入した。この機械を利用して新規作業としてペット用品の袋詰め作業を行い、第2松の園の中核となる作業として位置づけることができた。さらに、今年度も営業の窓口として目標工賃達成指導員を配置し、パソコン・小型家電のリサイクル事業の営業を積極的に行った。近隣の方々だけでなく、特別支援学校や大学、病院、企業からも多くのパソコンの寄付をいただき、徐々に事業が軌道に乗っている。また、タオルの加工業務や、ジョブステーション西宮からの作業、西宮市上下水道局からの水道メーター解体作業を継続実施している。法人内施設の人手不足解消のため、清掃業務、リネン業務、洗車業務など、様々な作業に取り組むことで工賃向上に繋がった。

令和6年度の平均工賃月額額は15505円となっており、前年度から5000円程増額となっている。

(4) 感染症対策

感染症対策として、健康チェックを自宅および施設利用中に行い、消毒の徹底を図ることで、感染者の増加による休園を避け、安定した運営を続けることができた。

(5) 余暇活動の充実

外部講師による音楽療法を継続し、季節行事や誕生日会などの定期的な企画に加え、ドッグセラピー犬との交流企画や、コロナ禍以前に行っていたホテルバイキングを第1松の園と合同で実施するなど、作業以外の楽しみを増やした。

(6) 交流の促進

事業再編により第1松の園と利用者・職員の入れ替わりがあり、交流

の機会が増えている。同じ通所事業として共同で保護者懇談会を開催できたことは大変意義深い。今後も行事等を共催し、両事業所の利用者・ご家族間の交流を深めていくことを目指す。

(7) サービスの質の向上

職員の人材育成にも力を入れ、法人内研修や外部研修、オンラインでの研修にも積極的かつ計画的に参加し、職員に高い専門性を求めた。

2 職員配置

施設長	事務員	サービス 管理責任者	生活支援員	目標工賃 達成指導員
1	1	1	1	1
職業指導員 常勤	職業指導員 非常勤			
4	1			

令和7年3月31日現在

3 外部・内部研修

実施日	研修名	参加人数
5月～3月	自閉症eサービス研修（計10回）	1
5月	チームアプローチ	1
6月	虐待防止（通所） リーダーシップ研修	10 1
7月	MBTI・チームビルディングについて	1
8月	権利擁護	4
9月	指導的職員の為の研修 組織マネジメント基礎講座 OJTリーダー養成研修 KYT研修	1 1 2 2
10月	専門職としてのコミュニケーション	1
11月	スキルの向上 応急手当普及員 MBTI・チームビルディングについて チームマネジメント研修	1 2 2 1
3月	尼崎武庫川園 実践報告会	2 1

4 年間行事

4月	お花見、音楽療法
5月	音楽療法
6月	音楽療法、ドックセラピー
7月	音楽療法
8月	夏祭り、音楽療法
9月	音楽療法
10月	音楽療法、西宮市民祭り
11月	武庫川園祭り、インフルエンザ予防接種、音楽療法
12月	クリスマス会、大掃除、音楽療法
1月	新年会、音楽療法、福祉ネイル
2月	個人懇談会、節分会、音楽療法
3月	ひな祭り、音楽療法

5 月別生産活動収益

月	月別合計金額
4月	272,798
5月	244,770
6月	349,955
7月	381,723
8月	337,232
9月	525,793
10月	429,995
11月	242,151
12月	295,333
1月	232,627
2月	335,818
3月	446,162
合 計	4,094,357

リーブ・フルーリー

1 令和 6 年度事業総括

令和 6 年度は 4 月に女性利用者 1 名が状態急変し、搬送先の病院で亡くられる。男性利用者 2 名が 11 月・1 月に療養型病院への入院となり退所される。R7 年 4 月中に男性利用者 2 名の入所が決まり、現在女性 2 床が空床となっている。引き続き入所者の希望者を募り、早い時期での入所調整を行っていく。

令和 6 年度は生活介護事業における年間の平均利用者数は 48.0 人から 44.0 人となった。利用者の退所により定員数を割ったことが減少の要因と考えられる。

令和 6 年 12 月に女性階でインフルエンザ A 型のクラスターが発生。令和 7 年 2・3 月に男性女性フロアでインフルエンザ A 型、新型コロナウイルスの罹患者が出たが、大きく感染が広がることなく収束する。それぞれ感染症が起こった際には、保健所や嘱託医の指導の下療養、隔離対応を行った。それぞれの感染症で感染された利用者は男性女性共に大事には至らず、その後、後遺症と思われる症状の方はいない。

短期入所については、同法人内の通所利用者からのニーズもあり、前年とほぼ同数となる。女性利用者の利用数が減少しているので、短期入所のニーズ調査を引き続き続けながら、事業の継続を行っていく。過去 5 年間の延べ利用者数の推移は以下のようになっている。

年 度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
人 数	843 人	260 人	484 人	737 人	736 人

日中行事では、利用者の高齢に伴う状態変化もあり日帰り・一泊旅行は計画を見送る。代替案として昼食を兼ねた買い物外出や、ご自身で外出先を選んでいただく選択外出を年間行事に取り入れ実施した。その他、施設内で楽しめる活動や小グループでの活動、男性女性利用者合同で行うボッチャ大会等これまで行ってこなかった活動を取り入れ、利用者の楽しみの創出を行った。

設備備品の更新について、当初予定していた 4 階の屋上防水工事を実施。経年劣化が見られるパソコンの更新、一部利用者居室のフローリング張替え、昨年度更新できていなかったベッドマットの更新を行った。環境整備、備品等の改修は都度行っている。また、高齢となった利用者向けに必要な福祉機器類についても導入・活用を行った。

利用者の健康管理では、協力医療機関及び嘱託医との連携により疾病の早期発見・早期治療に努め、感染症予防措置の強化などに取り組んだ。高齢に伴う認知症や身体状況の変化が見られる方もおられ、今後、現場での対応についての更なる専門知識が必要となってくる。専門医や医療機関とも引き続き協力関係の強化を図っていく。

2 職員配置

施設長	事務員 本部事務兼務	サービス管 理責任者	看護師	管理栄養士
1	1	1	2	1
理学療法士	支援員 常勤（嘱託）	支援員 非常勤	その他	
1	20（2）	10	1	

7年3月31日現在

3 内部・外部研修

<外部>

実施日	研修名	参加人数
5/28・5/29・ 5/30	強度行動障害支援者養成研修	1名（支援員）
5/28・6/25・ 6/26	強度行動障害支援者養成研修	1名（支援員）
10/22・10/23・ 10/24	強度行動障害支援者養成研修	1名（支援員）
7/5・8/2	新任管理職研修	1名（施設長）
7/31	はじめて福祉の仕事に就く人のための研修	2名（支援員）
8/29	新任管理職研修	1名（役職者）
8/29	聴き上手、伝え上手になるためのコミュニケーション研修	1名（支援員）
10/1	利用者と介護者の体を守る介護技術研修（起居動作介助変）	1名（支援員）
11/13	コーチング研修	1名（支援員）
12/6・12/7	動きを引き出すポジショニング研修	1名（支援員）
12/21	利用者と介護者を守る介護技術研修 （以上介助Ⅱ・移乗用リフト編）	1名（支援員）
1/29	利用者と介護者を守る介護技術研修（姿勢管理編）	1名（支援員）
3/5	「バリアフリー / 慢性期医療展 / 看護未来展 2025」	1名（理学療法士）

< 内部 >

実施日	研修名	参加人数
8/23	虐待防止研修	10 名
9/30・1/24	感染症・感染防止対策について	のべ 18 名
10/30・11/6	カスタマーハラスメントについて	のべ 15 名
2/17・2/21	権利擁護・虐待防止研修	のべ 13 名
2/20	ノーリフト研修	10 名

4 年間行事

月	日	行 事 内 容	参加人数
4 月	1～9 日	花見ドライブ	48 人
7 月	30 日	夏祭り 花火大会	45 人
10 月	1 日	バーベキュー大会	48 人
10 月	31 日	ハロウィンイベント	47 人
11 月	2 日	法人祭	47 人
12 月	24 日	クリスマス会 *感染症のため実施できず	人
1 月	30 日	新年会	46 人
3 月	25 日	お楽しみ会・食事会	45 人
8 月～ 翌 1 月		選択外出	46 人

第1 松の園

1 令和6年度 事業総括

令和6年度において、利用契約者50名でスタートした。年度途中で、他事業所から1名、第2松の園から2名の利用者が入所し、さらに他府県から1名が新たに入所した。また、生活スタイルの変化に伴い、第2松の園に1名、松の園に1名、リーブ・フルーリーに1名が異動した。年度途中で2名が退所し、3月末の利用者数は48名となっている。感染症の影響により、一時的に利用控えが発生し、登園率が低下した結果、定員に対する登園率は78.91%となった。感染症対策としては、健康チェックを自宅および施設利用中に行い、消毒の徹底を図ることで、感染者の増加による休園を避け、運営を続けることができた。職員体制は、職員の異動で人件費の削減を目指し、赤字幅を減らしている。

(1) 作業支援

作業支援と生活介護支援を2本の柱として活動を行った。継続的に行っていた作業に加え、新規作業を請け負うことで、生産活動の売上を前年度より増加させることができた。

(2) 生活介護支援

生活介護支援においては、生活全般の機能訓練（衣類畳みや、清掃、買い物等）や自主生産品の作成や季節に合わせた作品作り、個別に合わせた自立課題や体を動かす活動メニュー（散策や体操、ダンスやカラオケ等）を増やし、利用者に多様な活動を提供した。自主生産品や作品は、にしのみや市民祭りや甲東地区主催の文化の集いに参加し、展示や販売を行っており、地域との交流の機会になった。

(3) 支援環境の構築

ライフステージに合わせた支援環境を構築するために、様々な支援者とのつながりを強化し、利用者やご家族に福祉サービスの利用を提案している。その結果、法人内施設のショートステイ利用も増加し、入所施設に空所が出た場合には速やかに入所できる環境が整いつつある。

(4) 交流の促進

事業再編に伴い、第2松の園との利用者・職員の入れ替わりがあり、交流の機会が増えた。同じ通所事業として共同で保護者懇談会を開催できたことは、大変意義深い。今後も行事等を共催し、両事業所の利用者のご家族間の交流を深めていくことを目指す。

(5) 新規利用者獲得への取り組み及び登園率向上に向けて

近隣の特別支援学校や地域の施設利用を検討されている方々に対して、見学会や実習生の受け入れを積極的に行い、新規利用者獲得に向けた取り組みを継続していく。

利用率が低下しやすい、休日前後に意図的に行事を設け、登園率の向

上を目指した。1台通園バスの入れ替えを行い、過ごして頂く環境の向上を図った。

(6) 職員の資質向上

職員の資質向上を図るため、外部研修やオンライン研修に積極的に参加した。特に、強度行動障害に対する支援者養成研修（基礎・実践・行動援護）に複数の職員が参加し、資質の向上を図った。

3 職員配置

施設長	事務員	サービス管理 責任者	看護師 パート	栄養士
1	1	1	(1)	0
理学療法士 非常勤	支援員 常勤	支援員 非常勤		
0	9	6		

令和7年年3月31日現在

3 外部・内部研修

下記以外に職員全員対象で虐待防止研修実施（オンライン）

外	5月～3月	自閉症eサービス研修（12回）	支援員1名
外	11月～3月	行動援護従事者、強度行動障害支援者（基礎・実践）	支援員4名
外	6月	スーパーバイズを活用した実践報告会	支援員1名
内	7月	虐待防止・身体拘束	支援員2名
内	7月	MBTI・チームビルディング	施設長・主任
内	8月	リーダーシップ研修	支援員1名
外	8月	カスタマーハラスメント	施設長・主任
内	9月	OJTリーダー研修	支援員1名
外	9月	管理責任者のスキルアップ研修	主任
外	9月	コーチング研修	副主任
内	9月	KYT研修	支援員1名

外	10 月	障害制度と介護保険制度の連携	施設長
外	11 月	意思決定支援研修	主任
外	11 月	人材育成と組織運営についての研修	施設長
外	11 月	大阪ケアウィーク 23	主任
外	12 月	日中活動支援部会全国大会	主任
外	12 月	中堅職員研修	支援員 1 名
外	2 月	公開事例発表会	支援員 1 名
内	3 月	実践報告会	支援員 7 名

4 年間行事

月	行 事 内 容	参加人数
4 月	お花見弁当	4 2
5 月	青葉食事会	3 7
6 月	冷たいおやつ会	3 5
6 月	定期健康診断	
7 月	七夕作品展	全員
8 月	ミニ夏祭り	3 5
9 月	ミニミニスポーツ大会	4 3
11 月	甲東文化の集い	2
12 月	クリスマス会	4 7
1 月	新年会	3 8

2 月	節分おやつ・壁画	3 7
3 月	ひな祭りおやつ・壁画	3 9

毎月 誕生会 避難訓練

5 月別生産活動収益

月	月別合計金額
4 月	71,131
5 月	46,020
6 月	101,964
7 月	119,027
8 月	127,361
9 月	131,655
10 月	131,655
11 月	180,583
12 月	141,484
1 月	123,339
2 月	109,202
3 月	113,377
合 計	1,395,144

かがやきステーション

1 令和6年度事業総括

法人内通所利用者35名・法人内入所利用者60名・法人外サービス利用者5名・一般就労1名のサービス等利用計画支援、サービス等継続支援を行った。令和6年度は特に入所施設利用者が常時医療が必要な状態になり、入所施設を退所して病院に移りサービス終了につながるケースが多かった。65才になり介護保険に移行する方もいた。一方法人内の利用者で、当事業所への移行を希望する方には他の相談支援事業者からの変更を受け付けた。また県外から引っ越しをして法人内サービスを利用される方の受け入れも行い、新規利用者の獲得につながった。サービス利用によって本人らしい生活が成り立つような支援体制作りを他の関係機関と連携を取りながら行った。

入所施設利用者の「働きたい」「地域で暮らしたい」「充実した余暇活動をしたい」などのニーズに合わせた支援の調整を法人内や他の事業所とも連携をとってきた。外出支援の事業所の紹介やグループホームの見学同行、体験の日程調整を行った。

入所施設で空きができた時、入所希望者の情報の整理を行い入所者選定のサポートを行った。入所者が決まった後はご家族に連絡を行い入所日の調整や聞き取りの面談に立ち会った。

日中利用している事業所から他の事業所を希望する方には新しい事業所を探して見学に同行し、スムーズに移行できるよう情報提供を行った。

同居の家族が長期入院となり、自宅での生活が難しくなった利用者には入所施設の短期入所の利用につなげ、安定した生活を継続できるように市や入所施設と連携をとり申請書類の代理作成を行った。

事業所の職員から虐待を受けた利用者に対しては市役所への通報を同行し、サービス管理責任者と密に連絡をとり防止につながる対策を検討した。

定期的に西宮市自立支援協議会のあんしん窓口連絡会（市内の相談支援員が集まる会議）に参加し、研修の受講、情報共有行ってきた。地域移行連絡会に参加を予定していたが面談と重なる事が多く、ほとんど参加ができなかったが市内のグループホームや就労継続B型支援事業所に見学をする事ができた。

障害者虐待防止研修を受講し権利擁護の意識を高める事ができた。事業所内でも虐待防止委員会を開催した。

2 職員配置

管理者兼相談支援員	相談支援員（他施設職員と兼務）
1	1

令和7年3月31日現在

3 外部・内部研修等

実施月	研修名	参加人数
9 月	難病対策講習会	1
1 1 月	障害のある子の親亡き後	1
1 2 月	法人内研修（管理職研修）	1
1 月	高齢知的障害者の支援	1
1 月	障害者虐待防止研修	1
2 月	ストレスマネジメントの重要性	1

こころ&つばさ

1 令和 6 年度事業総括

現在男性 2 名女性 1 名のご利用者が生活されている。
利用希望者 2 名が見学に来られたが、入所に至らず、相談支援事業所にも情報の提供を依頼したが、新規入所につながらなかった。

報酬改定で重度訪問介助については令和 9 年度まで経過措置が決定したが、自治体のほとんどが支給決定は困難な状況にある。

欠員の状態が続いているため、早急に新規入所者の受け入れが必要。

ケア記録アプリを本格的に導入したことで情報の共有、業務効率化が図れた。感染症については 7 月男性 1 名が新型コロナウイルスに罹患された。12 月には女性 1 名男性 2 名全員がインフルエンザに罹患し、女性は高熱になるとほとんど動くことができない状況になり、入院することになった。

職員に対してはオンライン研修を活用し、全員が虐待防止研修を行った。

2 職員配置

管理者	サービス管理責任者	支援員 非常勤
1 名	1 名	14 名

令和 7 年 3 月 31 日現在